



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 株式会社 ヤマノホールディングス

上場取引所 東

コード番号 7571 URL <http://www.yamano-hd.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼最高経営責任者 (CEO) (氏名) 山野 義友

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理副本部長兼財務経理部長 (氏名) 岡田 充弘 TEL 03-3376-7878

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成29年11月24日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	7,690	38.7	95	208.3	148		534	
29年3月期第2四半期	12,536	20.3	31		9		30	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 963百万円 (%) 29年3月期第2四半期 56百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	15.70	
29年3月期第2四半期	0.89	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	8,338		1,921			23.0
29年3月期	11,627		2,508			10.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,921百万円 29年3月期 1,174百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		2.00	2.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	43.0	170	53.2	210	39.8	500	166.0	14.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 社 (社名) 、 除外 1 社 (社名) 堀田丸正株式会社
堀田丸正株式会社を除外により同社子会社4社も異動しております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	34,497,058 株	29年3月期	34,497,058 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	456,866 株	29年3月期	456,866 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	34,040,192 株	29年3月期2Q	34,040,192 株

当第2四半期連結累計期間より新たに業績連動型株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本に自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算説明会の資料及び内容は、決算説明会終了後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の連結業績は、事業撤退の影響により、売上高は76億90百万円（前年同四半期比38.7%減）となりましたが、営業利益は95百万円（前年同四半期比208.3%増）となり、経常利益については、事業譲渡による収入をシンジケートローンの早期返済に充当することより支払利息が減少し、また受取配当金が増加したこと等により1億48百万円（前年同四半期比1,472.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、事業撤退損の計上があったものの、卸売子会社の株式を一部売却したことによる売却益の計上があり、5億34百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失30百万円）となりました。

(セグメント別の状況)

・美容事業

不採算店舗を前期13店舗閉鎖したことにより、売上高は10億22百万円（前年同四半期比6.9%減）となりましたが、既存店舗売上高は前年同期比99.9%となり、継続していた客数減に歯止めが見られております。損益面では、スタッフへの技術研修の強化や販促活動の効率化を実施したことにより単価の改善が図られ、管理コスト削減にも努めた結果、セグメント利益22百万円（前年同四半期はセグメント損失4百万円）となりました。

・和装宝飾事業

和装宝飾事業での売上高は、7月に開催した上期最大の大型催事「ヤマノコレクション」での売上高が前年比117%と好調であったことや和装小売部門での売上高が前年同四半期比100.8%と堅調に推移した一方で、宝飾小売部門において、前期、不採算店舗11店舗を閉鎖した影響があり、52億29百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。損益面では、堅調を維持する和装小売部門において報奨金支給等の人件費増があり、セグメント利益は1億78百万円（前年同四半期比4.5%減）となりました。

・DSM事業

事業所の統廃合を前期に6拠点、当四半期に1拠点行ったことにより、売上高は10億56百万円（前年同四半期比12.5%減）となりました。損益面では、事業所統合によりコスト削減を図りましたが、売上高減少の影響により、セグメント利益は10百万円（前年同四半期比51.5%減）となりました。

・スポーツ事業

平成29年5月23日付で事業譲渡を実行したことにより、売上高は3億78百万円（前年同四半期比74.6%減）、セグメント損失は1億36百万円（前年同四半期はセグメント損失1億30百万円）となりました。

・卸売事業

平成29年5月24日、25日付で、卸売事業を営む堀田丸正株式会社の株式を一部売却したことにより、卸売事業は第1四半期の期首で連結の範囲から除外しております。なお、前年同四半期における当該事業の売上高は30億54百万円、セグメント損失は12百万円であります。

・その他の事業

その他の事業に含まれていた堀田丸正株式会社の子会社3社を、第1四半期の期首で連結の範囲から除外したため、売上高は0百万円（前年同四半期比99.9%減）となり、セグメント損失は7百万円（前年同四半期はセグメント利益4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて32億88百万円減少し83億38百万円となりました。これは主に、卸売事業及びスポーツ事業の撤退による影響であり、現金及び預金が13億81百万円増加、受取手形及び売掛金が14億69百万円減少、電子記録債権が1億65百万円減少、商品及び製品が19億45百万円減少、有形固定資産が9億54百万円減少、敷金及び保証金が3億47百万円減少し、また関係会社株式の保有目的変更に伴い、投資有価証券が7億61百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて27億1百万円減少し64億16百万円となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金が6億64百万円減少、電子記録債務が2億78百万円減少、短期借入金が2億40百万円減少、1年以内返済予定長期借入金が2億31百万円減少、長期借入金が8億95百万円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5億87百万円減少し19億21百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金5億34百万円の増加、その他有価証券評価差額金4億35百万円の増加、剰余金の配当68百万円、卸売事業の連結除外による利益剰余金の減少91百万円、非支配株主持分13億34百万円の減少によるものです。

第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が5億69百万円となり、前年同四半期連結会計期間末に比べ11億68百万円増加し24億24百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1億68百万円（前年同四半期は1億43百万円の収入）となりました。

主な増加要因としては、税金等調整前四半期純利益5億69百万円、事業撤退損の計上92百万円、仕入債務の増加額1億60百万円があり、減少要因としては、関係会社株式売却益の計上4億99百万円、棚卸資産の増加額2億46百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果得られた資金は、24億99百万円（前年同四半期は46百万円の収入）となりました。

主な増加要因としては、事業譲渡による収入14億23百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入11億83百万円、差入保証金の回収による収入49百万円があり、減少要因としては、子会社株式の取得による支出57百万円、有形固定資産の取得による支出71百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、12億85百万円（前年同四半期は3億53百万円の支出）となりました。

これは主に、短期借入金の減少額45百万円、長期借入金の返済による支出11億27百万円、配当金の支払額64百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、前回（平成29年8月8日付「平成30年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しております。）の内容から変更はありません。

今後、業績予想に変更の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,531,138	2,912,899
受取手形及び売掛金	2,655,459	1,186,137
電子記録債権	165,975	-
商品及び製品	3,449,795	1,504,148
仕掛品	18,890	-
原材料及び貯蔵品	63,871	2,182
繰延税金資産	11,820	11,820
その他	367,166	204,672
貸倒引当金	△42,156	△15,203
流動資産合計	8,221,962	5,806,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,871,562	985,272
減価償却累計額	△1,315,282	△640,388
建物及び構築物(純額)	556,280	344,884
機械装置及び運搬具	9,781	-
減価償却累計額	△9,426	-
機械装置及び運搬具(純額)	354	-
工具、器具及び備品	409,096	205,210
減価償却累計額	△360,167	△178,866
工具、器具及び備品(純額)	48,928	26,344
土地	743,633	37,411
リース資産	82,008	51,322
減価償却累計額	△54,231	△37,745
リース資産(純額)	27,776	13,577
有形固定資産合計	1,376,974	422,218
無形固定資産		
のれん	181,651	153,517
その他	86,034	49,417
無形固定資産合計	267,686	202,935
投資その他の資産		
投資有価証券	131,321	892,831
長期貸付金	11,475	8,493
繰延税金資産	83,131	-
敷金及び保証金	1,317,612	969,731
その他	287,431	46,542
貸倒引当金	△70,460	△10,993
投資その他の資産合計	1,760,512	1,906,604
固定資産合計	3,405,173	2,531,757
資産合計	11,627,135	8,338,415

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,433,781	1,769,518
電子記録債務	605,604	326,900
短期借入金	300,500	60,000
1年内償還予定の社債	36,400	31,400
1年内返済予定の長期借入金	407,060	175,800
未払金	597,147	546,574
前受金	1,831,465	1,690,360
未払法人税等	78,903	37,369
賞与引当金	99,218	101,405
返品調整引当金	33,308	-
ポイント引当金	54,150	38,597
株主優待引当金	4,756	4,756
資産除去債務	4,365	-
その他	505,575	406,214
流動負債合計	6,992,236	5,188,896
固定負債		
社債	73,800	60,600
長期借入金	1,447,780	552,400
長期末払金	175,852	105,666
役員株式給付引当金	-	9,362
繰延税金負債	30,652	170,600
資産除去債務	319,336	284,369
その他	78,799	44,928
固定負債合計	2,126,220	1,227,928
負債合計	9,118,457	6,416,824
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	-	979
利益剰余金	1,111,671	1,429,614
自己株式	△53,008	△53,988
株主資本合計	1,158,662	1,476,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,691	444,985
為替換算調整勘定	6,081	-
その他の包括利益累計額合計	15,772	444,985
非支配株主持分	1,334,242	-
純資産合計	2,508,678	1,921,590
負債純資産合計	11,627,135	8,338,415

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,536,765	7,690,738
売上原価	6,894,938	3,733,653
売上総利益	5,641,827	3,957,085
販売費及び一般管理費	5,610,740	3,861,232
営業利益	31,087	95,852
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,585	57,244
受取地代家賃	6,576	1,632
助成金収入	9,113	-
その他	20,439	7,352
営業外収益合計	39,715	66,229
営業外費用		
支払利息	18,804	7,791
手形売却損	820	-
為替差損	7,545	-
その他	34,216	6,219
営業外費用合計	61,386	14,011
経常利益	9,416	148,070
特別利益		
固定資産売却益	-	43,858
関係会社株式売却益	-	499,637
特別利益合計	-	543,496
特別損失		
固定資産除却損	98	205
減損損失	907	1,047
事業撤退損	-	92,718
店舗閉鎖損失	11,217	379
その他	-	27,972
特別損失合計	12,224	122,325
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,807	569,241
法人税、住民税及び事業税	30,412	37,369
法人税等調整額	1,547	△2,691
法人税等合計	31,960	34,677
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,767	534,563
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,374	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△30,392	534,563

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△34,767	534,563
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,372	435,293
為替換算調整勘定	△15,455	△6,081
その他の包括利益合計	△21,828	429,212
四半期包括利益	△56,595	963,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△42,571	963,775
非支配株主に係る四半期包括利益	△14,024	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,807	569,241
減価償却費	73,615	45,561
減損損失	907	1,047
のれん償却額	28,133	28,134
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△1,307	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,350	14,187
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△67	△251
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,357	△916
受取利息及び受取配当金	△3,585	△57,244
支払利息	18,804	7,791
手形売却損	820	-
有形固定資産除却損	98	205
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△43,858
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△499,637
事業撤退損	-	92,718
売上債権の増減額(△は増加)	178,341	9,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△233,963	△246,991
仕入債務の増減額(△は減少)	148,457	160,666
前受金の増減額(△は減少)	△10,467	△97,985
その他	31,606	176,838
小計	224,580	158,769
利息及び配当金の受取額	3,569	57,244
利息の支払額	△15,926	△7,860
手形売却に伴う支払額	△820	-
法人税等の支払額	△68,271	△39,655
営業活動によるキャッシュ・フロー	143,131	168,497
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	800	-
有形固定資産の取得による支出	△45,155	△71,262
無形固定資産の取得による支出	△10,261	△1,110
投資有価証券の取得による支出	△771	-
投資有価証券の売却による収入	-	502
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	1,183,449
子会社株式の取得による支出	-	△57,195
貸付けによる支出	△90	△320
貸付金の回収による収入	2,477	2,129
敷金及び保証金の差入による支出	△32,963	△18,206
差入保証金の回収による収入	206,994	49,106
ゴルフ会員権の取得による支出	-	△4,920
事業譲渡による収入	-	1,423,918
事業譲受による支出	△60,000	-
その他	△14,583	△6,977
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,444	2,499,114

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△102,800	△45,500
長期借入れによる収入	133,600	-
長期借入金の返済による支出	△233,914	△1,127,800
社債の償還による支出	△18,200	△18,200
自己株式の取得による支出	-	△20,008
自己株式の売却による収入	-	19,028
配当金の支払額	△67,354	△64,334
非支配株主への配当金の支払額	△40,524	-
その他	△24,070	△29,037
財務活動によるキャッシュ・フロー	△353,263	△1,285,851
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,881	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△172,568	1,381,761
現金及び現金同等物の期首残高	1,427,813	1,042,388
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,255,244	2,424,149

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月13日 取締役会	普通株式	68,080	2.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当の支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月15日 取締役会	普通株式	68,080	2.00	平成29年3月31日	平成29年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

第1四半期連結会計期間の期首において、卸売事業を営む堀田丸正株式会社及び堀田丸正の子会社4社を連結の範囲から除外いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が91,345千円減少しております。

また、当社は平成29年5月18日付で、連結子会社である株式会社マイスタイルの株式を追加取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、利益剰余金が57,195千円減少しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,097,724	1,488,728	1,207,078	5,333,734	3,054,108
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	—	—	—	69,744
計	1,097,758	1,488,728	1,207,078	5,333,734	3,123,853
セグメント利益又は損失(△)	△4,482	△130,919	21,971	187,023	△12,183

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	12,181,373	355,392	12,536,765	—	12,536,765
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69,779	20,338	90,118	△90,118	—
計	12,251,153	375,731	12,626,884	△90,118	12,536,765
セグメント利益又は損失(△)	61,409	4,173	65,582	△34,495	31,087

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業及びその他事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益の調整額△34,495千円には、セグメント間取引消去4,477千円、のれんの償却額△22,799千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△11,976千円及び棚卸資産の調整額△4,196千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	907	—	—	—	—	—	—	907

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売
売上高					
外部顧客への売上高	1,022,307	378,687	1,056,818	5,229,468	—
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	—	—	—	—
計	1,022,377	378,687	1,056,818	5,229,468	—
セグメント利益又は損失(△)	22,196	△136,214	10,647	178,689	—

	報告セグメント	その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	計				
売上高					
外部顧客への売上高	7,687,281	220	7,687,502	3,236	7,690,738
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	5,943	6,014	△6,014	—
計	7,687,352	6,163	7,693,516	△2,777	7,690,738
セグメント利益又は損失(△)	75,318	△7,878	67,440	28,412	95,852

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない事業セグメントである金融事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額28,412千円には、のれんの償却額△22,800千円、各報告セグメントに配分していない全社費用51,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、当社のスポーツ事業を事業譲渡し、スポーツ事業から撤退したため、前連結会計年度の末日に比べ、「スポーツ事業」のセグメント資産が1,551,436千円減少しております。

また第1四半期連結会計期間において、「卸売事業」を構成していた堀田丸正株式会社の株式の一部を売却し、連結の範囲から除外したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「卸売事業」のセグメント資産が5,243,165千円減少しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、前連結会計年度において連結子会社であった堀田丸正株式会社の株式を一部売却したため、同社及び同社の子会社4社を連結の範囲から除外したことに伴い、報告セグメント「卸売事業」を廃止しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	美容	スポーツ	D S M	和装宝飾	卸売	その他	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	1,047	—	—	—	1,047